

WarmHeart

2015年3月

3月14日、立命館中高の小ホールにて、第4回WarmHeartを行いました。今回は、福島や宮城、茨城や岡山など、遠くから来てくださる方もおり、充実した時間を過ごすことができました。中高スタッフやゲストの方を含め、約160人の人が参加してくれました。部活で参加してくれた人もいました。本当にありがとうございました。



まず、第1部の立命館高校の生徒からの報告では、生徒会執行部よりこの1年間の活動の振り返りと、リビオより夏の石巻訪問と20周年記念について話してもらいました。

つづいて、長岡第4小学校の太田校長先生と園芸委員担当の大橋先生に、小学校の取り組みについて10分ほど話していただきました。震災が起きてからすぐ、ヒマワリを育てられており、同じ福島ひまわり里親プロジェクトに参加

している学校と本校が関わりを持ててよかったなと思いました。

半田真仁さん、大和田紗希ちゃん(小6)の講演では、半田さんが理事をされているチームふくしまの話や、ひまわり里親プロジェクトに参加している方のインタビュー-VTRを見たいしました。紗希ちゃんは今まで、原発の影響で、お母さんと茨城県に避難されていました。この春からは家族揃って福島に帰るという中、福島への想いを訴え、たくさんの観客の涙をさそいました。

第2部では、シンガーソングライターの森源太さんの唄とお話を聞きました。中高生に向けて、自分の経験話を含めながら、夢や将来について30分間話していただきました。「大丈夫」「生命」「Restart～再出発～」などの曲を披露されました。



「おのくん」は、参加者で一生懸命作ることができました。短い時間の中でしたが、子どもから年配の方まで、楽しむことができたと思います。自分オリジナルのおのくんにごく愛着が湧いてきたと言っておられた人もいて、嬉しかったです。

参加者の感想として、「今まで人の目を気にして諦めたことがありましたが、やってみようと思いました」や、「自分の中で昔のことになっていた東北大震災のことは、まだ終わっていない。これから「も」なんだと思い出させてもらいました」などをいただきました。また、「あなたの幸せが、めぐりめぐって私たちの幸せに繋がっているんだよ」という源太さんの言葉で、後ろ向きだった気持ちが明るくなりましたという声もいただきました。

今回、私達立命館の生徒がお世話になっている石巻の方や、ひまわり里親プロジェクトの福島の方に繋がりができ、今までのWarmHeartでも、繋がりが一番広がったものになったと思いました。作ったおのくんは、3月中旬の東北訪問の時に持っていこうと考えています。今回手伝ってくださったスタッフのみなさん、本当にありがとうございました。これからも心が温まる活動を続けていきましょう。

立命館高校生徒会執行部
副会長：大本彩夏

